

教育資格及び教育内容等の自己評価書様式

【自己評価 1-1】専任教員の配置状況

学部・学科等の名称	専任教員数							非常勤教員	専任教員一人あたりの在籍学生数	備考
	教授	准教授	講師	助教	計	基準数	うち理学療法士又は作業療法士数			
リハビリテーション学部 作業療法学科	4人	3人	1人	6人	13人	8人	12人	124人	11.69人	
計	4人	3人	1人	6人	13人	8人	12人	124人	11.69人	

【自己評価 1-2】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	理学療法士又は作業療法士である専任教員の配置人数が適正であり、かつ関連領域を教授できる医師等の専門家が配置されている。	3
	理学療法士又は作業療法士である専任教員の配置人数が適正である。	2
	理学療法士又は作業療法士である専任教員の人数が適正でない。	1

【自己評価 1-3】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	全ての養成施設指導ガイドラインの教育内容（講義）を専任教員か、専任教員と同等以上の知識を有する教員が担当している。	4
	9割以上の養成施設指導ガイドラインの教育内容（講義）を専任教員か、専任教員と同等以上の知識を有する教員が担当している。	3
	8割以上の養成施設指導ガイドラインの教育内容（講義）を専任教員か、専任教員と同等以上の知識を有する教員が担当している。	2
	上記以外である。	1

【自己評価 1-4】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
	専任教員（理学療法士又は作業療法士）は、全員が臨床に携わることで臨床能力の向上に努めている。	3
○	専任教員（理学療法士又は作業療法士）は、一部が臨床に携わることで臨床能力の向上に努めている。	2
	専任教員（理学療法士又は作業療法士）は、臨床に携わることで臨床能力の向上に努めていない。	1

【自己評価 2-1】養成施設指導ガイドラインとの連動状況

分野(基礎・専門 基礎・専門)	指定規則 教育内容	相当授業 科目名	担当 コマ数	担当教員	
				氏名	職名（専任・兼任）
基礎	科学的思考の基礎	基礎ゼミ	8	佐藤春彦 他	(専任) / (兼任)
		統計学	15	北脇知己 他	(兼任)
基礎	科学的思考の基礎	情報処理技術	8	北脇知己 他	(兼任)
		研究方法論	8	浅井剛	(専任) / (兼任)
基礎	科学的思考の基礎	生物	15	島田幸弘	(兼任)
		認知科学	8	吉村匡史	(専任)
基礎	科学的思考の基礎	物理	15	楠本邦子	(兼任)
		化学	15	牧田佳真	(兼任)
基礎	人間と生活	心理学	15	西垣悦代 他	(兼任)
		倫理学	15	岡田悠汰	(兼任)
基礎	人間と生活	健康科学	15	木村穰 他	(兼任)
		教育学	15	朝日素明	(兼任)
基礎	人間と生活	医療経済学	-	-	-
		哲学	15	小田麟太郎	(兼任)
基礎	人間と生活	社会学	15	野々村元希	(兼任)
		-	-	-	-
基礎	社会の理解	基礎英語	15	小坂裕美	(兼任)
		コミュニケーション論	8	長岡千賀	(兼任)
基礎	社会の理解	医学英語	15	小坂裕美	(兼任)
		グローバルコミュニケーション	15	Amanda O'Brien 他	(兼任)
基礎	社会の理解	中国語	15	劉秋燕	(兼任)
		韓国語	15	李鎮榮	(兼任)

分野(基礎・専門 基礎・専門)	指定規則 教育内容	相当授業 科目名	担当 コマ数	担当教員	
				氏名	職名(専任・兼任)
基礎	社会の理解	フランス語	15	MoulinBerengere	(兼任)
		-	-	-	-
専門基礎	人体の構造と機能及び心 身の発達	解剖学Ⅰ	15	長谷谷隆 他	(兼任)
		解剖学Ⅱ	15	飯田寛和 他	(兼任)
専門基礎	人体の構造と機能及び心 身の発達	生理学Ⅰ	15	前澤仁志 他	(兼任)
		生理学Ⅱ	15	前澤仁志 他	(兼任)
専門基礎	人体の構造と機能及び心 身の発達	生理学実習	30	前澤仁志 他	(専任) / (兼任)
		運動学Ⅰ	15	市橋剛明 他	(兼任)
専門基礎	人体の構造と機能及び心 身の発達	運動学Ⅱ	15	佐藤春彦 他	(兼任)
		運動学実習	15	佐藤春彦 他	(専任) / (兼任)
専門基礎	人体の構造と機能及び心 身の発達	人間発達学	15	加藤寿宏	(専任)
		臨床心理学	8	吉村匡史	(専任)
専門基礎	疾病と障害の成り立ち及 び回復過程の促進	病理学	8	蔦幸治 他	(兼任)
		画像診断解析学	-	-	-
専門基礎	疾病と障害の成り立ち及 び回復過程の促進	内科学Ⅰ	15	伊藤量基 他	(兼任)
		内科学Ⅱ	15	竹花一哉 他	(兼任)
専門基礎	疾病と障害の成り立ち及 び回復過程の促進	整形外科Ⅰ	15	飯田寛和 他	(兼任)
		整形外科Ⅱ	15	齋藤貴徳 他	(兼任)
専門基礎	疾病と障害の成り立ち及 び回復過程の促進	臨床神経学Ⅰ	15	中村正孝 他	(兼任)
		臨床神経学Ⅱ	15	武田純一 他	(兼任)
専門基礎	疾病と障害の成り立ち及 び回復過程の促進	小児科学	15	赤川翔平 他	(専任) / (兼任)
		精神医学	15	吉村匡史	(専任)
専門基礎	疾病と障害の成り立ち及 び回復過程の促進	公衆衛生学	15	神田靖士 他	(兼任)
		老年医学	8	吉村匡史	(専任)
専門基礎	疾病と障害の成り立ち及 び回復過程の促進	臨床薬学	8	吉村匡史 他	(専任) / (兼任)
		救急医学	8	鎌方安行 他	(兼任)
専門基礎	疾病と障害の成り立ち及 び回復過程の促進	臨床栄養学	8	藤本さおり	(兼任)
		先端リハビリテーション医学	8	長谷谷隆 他	(兼任)
専門基礎	保健医療福祉とリハビリ テーションの理念	リハビリテーション概論	8	池添冬芽 他	(専任) / (兼任)
		医療専門職総論	15	中野治郎 他	(専任) / (兼任)
専門基礎	保健医療福祉とリハビリ テーションの理念	リハビリテーション医学	8	長谷谷隆 他	(兼任)
		国際保健	8	種村留美 他	(専任) / (兼任)
専門基礎	保健医療福祉とリハビリ テーションの理念	医療福祉連携論	8	池添冬芽 他	(専任) / (兼任)
		がんリハビリテーション学	8	三木恵美 他	(専任) / (兼任)
専門基礎	保健医療福祉とリハビリ テーションの理念	チーム医療演習	8	中野治郎 他	(専任) / (兼任)
		国際リハビリテーション学	8	種村留美 他	(専任) / (兼任)
専門	基礎作業療法学	作業療法概論	15	三木恵美 他	(専任)
		基礎作業学	-	-	-
専門	基礎作業療法学	基礎作業学実習Ⅰ	30	松島佳苗 他	(専任)
		基礎作業学実習Ⅱ	30	三木恵美 他	(専任)
専門	基礎作業療法学	作業療法研究論	8	種村留美 他	(専任)
		作業療法研究演習Ⅰ	8	種村留美 他	(専任)
専門	基礎作業療法学	作業療法研究演習Ⅱ	8	種村留美 他	(専任)
		作業療法総合演習	8	福井信佳 他	(専任)
専門	基礎作業療法学	卒業研究	8	種村留美 他	(専任)
		理学療法概論	8	池添冬芽	(兼任)
専門	基礎作業療法学	スポーツと作業療法	8	酒井浩	(兼任)
		緩和ケアにおけるリハビリテーション	8	吉村匡史	(専任)
専門	作業療法管理学	作業療法管理運営学Ⅰ	8	加藤寿宏 他	(専任)
		作業療法管理運営学Ⅱ	8	加藤寿宏 他	(専任)
専門	作業療法評価学	作業療法評価学概論	8	三木恵美 他	(専任)
		身体障害系作業療法評価学・演習	30	福井信佳 他	(専任)
専門	作業療法評価学	精神障害作業療法評価学・演習	30	吉村匡史 他	(専任)
		発達障害作業療法評価学・演習	30	加藤寿宏 他	(専任)

分野(基礎・専門 基礎・専門)	指定規則 教育内容	相当授業 科目名	担当 コマ数	担当教員	
				氏名	職名(専任・兼任)
専門	作業療法評価学	高次脳機能障害作業療法評価学・演習	30	種村留美 他	(専任)
		画像評価学演習	15	吉村匡史 他	(専任) / (兼任)
専門	作業療法評価学	作業療法評価の基礎	8	中山淳 他	(専任)
		-	-	-	-
専門	作業療法治療学	日常生活活動学	15	松島佳苗 他	(専任) / (兼任)
		日常生活活動学演習(作業)	15	三木恵美 他	(専任)
専門	作業療法治療学	身体障害系作業療法治療学	15	福井信佳 他	(専任) / (兼任)
		身体障害系作業療法演習	15	福井信佳 他	(専任)
専門	作業療法治療学	精神障害作業療法治療学	15	吉村匡史 他	(専任) / (兼任)
		精神障害作業療法演習	15	吉村匡史 他	(専任) / (兼任)
専門	作業療法治療学	発達障害作業療法治療学	15	加藤寿宏	(専任)
		発達障害作業療法演習	14	加藤寿宏 他	(専任)
専門	作業療法治療学	高次脳機能障害作業療法演習	15	種村留美 他	(専任)
		高齢期・内部障害作業療法学	15	種村留美 他	(専任) / (兼任)
専門	作業療法治療学	運動器疾患作業療法演習	15	福井信佳 他	(専任)
		義肢装具学	8	浅井剛 他	(専任) / (兼任)
専門	作業療法治療学	リハビリテーション工学	8	浅井剛 他	(専任) / (兼任)
		アシスティブテクノロジー学	8	種村留美 他	(専任)
専門	作業療法治療学	スポーツリハビリテーション学	8	飯田寛和 他	(兼任)
		認知症に対する作業療法	8	種村留美 他	(専任) / (兼任)
専門	作業療法治療学	神経発達症と作業療法	8	加藤寿宏	(専任)
		理学療法特論	8	野村卓生	(兼任)
専門	作業療法治療学	運動器疾患作業療法学	-	-	-
		作業療法義肢装具学演習	-	-	-
専門	作業療法治療学	グローバルキャリア論	-	-	-
		疼痛リハビリテーション学	-	-	-
専門	地域作業療法学	住環境学	8	三木恵美 他	(専任)
		地域作業療法学	15	三木恵美 他	(専任) / (兼任)
専門	地域作業療法学	就学・就労支援論	8	三木恵美 他	(専任) / (兼任)
		在宅支援論	8	種村留美 他	(専任) / (兼任)
専門	地域作業療法学	先端住環境支援論	-	-	-
		-	-	-	-
専門	臨床実習	臨床見学実習(作業)	12	加藤寿宏 他	(専任)
		臨床評価実習(作業)	15	加藤寿宏 他	(専任)
専門	臨床実習	臨床地域リハビリテーション実習(作業)	-	加藤寿宏 他	(専任)
		総合臨床実習Ⅰ(作業)	-	加藤寿宏 他	(専任)
専門	臨床実習	総合臨床実習Ⅱ(作業)	-	加藤寿宏 他	(専任)
		-	-	-	-

【自己評価 2-2】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	養成施設指導ガイドラインに基づき、教育課程を体系的に編成している。	3
	養成施設指導ガイドラインに基づき、教育課程をおおむね体系的に編成している。	2
	養成施設指導ガイドラインに基づいていない、または教育課程を体系的に編成していない。	1

【自己評価 2-3】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	シラバスにすべての授業科目の授業計画、全体目標、成績評価基準・方法を明記している。	4
	シラバスにすべての授業科目の授業計画、全体目標、成績評価基準・方法をおおむね明記している。または、大半の授業科目の授業計画、全体目標、成績評価基準・方法を明記している。	3
	シラバスの記載が十分ではない。	2
	シラバスが作成されていない。	1

【自己評価 3-1】 当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	養成施設指導ガイドラインに従った診療参加型による臨床実習を実施している。	4
	養成施設指導ガイドラインに従った診療参加型による臨床実習をおおむね実施している。	3
	養成施設指導ガイドラインに従った診療参加型による臨床実習を十分に実施していない。	2
	養成施設指導ガイドラインに従った診療参加型による臨床実習を実施していない。	1

【自己評価 3-2】 当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	講義と関連の実習が十分に連動して実施されている。	4
	講義と関連の実習がおおむね連動して実施されている。	3
	講義と関連の実習が十分に連動して実施されていない。	2
	講義と関連の実習が連動して実施されていない。	1

●基本情報：臨床実習の見学又は実践する範囲とそれに関連する講義科目それぞれの開講時期を記入してください。

臨床実習の見学又は実践する範囲	開講時期	関連講義名	開講時期
医療機関（関連病院）、訪問看護ステーションでのリハビリテーションの見学	1年（通年）	リハビリテーション概論	1年前期
		作業療法概論	1年前期
		基礎ゼミ	1年前期
医療・福祉施設での作業療法評価の実践	2年（後期）	作業療法評価学総論	1年後期
		身体障害系作業療法評価学・演習	2年前期
		精神障害作業療法評価学・演習	2年前期
発達障害作業療法評価学・演習	2年前期	発達障害作業療法評価学・演習	2年前期
		住環境学	2年後期
		地域作業療法学	3年前期
訪問リハビリテーション、通所リハビリテーション施設での地域作業療法の見学	3年（後期）	高齢期・内部障害作業療法学	3年前期
		身体障害系作業療法治療学	3年前期
		精神障害作業療法治療学	3年前期
医療提供施設での作業療法の実践 （作業療法評価計画から治療プログラム立案まで）	3年（後期）	発達障害作業療法治療学	3年前期
		高次脳機能作業療法演習	3年前期
		運動器疾患作業療法演習	3年前期
		身体障害系作業療法演習	3年後期
		精神障害作業療法演習	3年後期
		精神障害作業療法評価学・演習	3年後期
		発達障害作業療法評価学・演習	3年後期
医療提供施設での作業療法の実践 （治療実施から再評価まで）	3年（後期）	精神障害作業療法治療学	3年前期
		発達障害作業療法治療学	3年前期
		高次脳機能作業療法演習	3年前期
		運動器疾患作業療法演習	3年前期
		身体障害系作業療法演習	3年後期
		精神障害作業療法演習	3年後期
		精神障害作業療法評価学・演習	3年後期
		発達障害作業療法評価学・演習	3年後期
		作業療法管理運営学Ⅰ	3年後期
作業療法管理運営学Ⅱ	4年前期		

【自己評価 3-3】 当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	養成所指導ガイドラインで定める要件を満たす主たる実習施設で十分な臨床実習が実施されている。	3
	養成所指導ガイドラインで定める要件を満たす主たる実習施設で一部の臨床実習が実施されている。	2
	養成所指導ガイドラインで定める要件を満たす主たる実習施設を置いていない。	1

【自己評価 3-4】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	適正な臨床実習指導者の下で実習が実施されている。	4
	適正な教員の監督指導の下で実習がおおむね実施されている。	3
	適正な教員の監督指導の下で実習が十分に実施されていない。	2
	適正な教員の監督指導の下で実習が実施されていない。	1

【自己評価 3-5】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	臨床実習におけるハラスメント防止のための体制があり、対応が十分である。	3
	臨床実習におけるハラスメント防止のための体制はあるが、対応が十分でない。	2
	臨床実習におけるハラスメント防止のための体制がなく、対応も不十分である。	1

【自己評価 4-1】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	自己点検・評価の体制があり、改善に向けて機能している。	3
	自己点検・評価の体制はあるが、改善に向けて機能していない。	2
	自己点検・評価の体制がない。	1

●基本情報：自己点検・評価体制記入してください。

自己点検・評価組織名	自己点検評価委員会
委員名（委員長）	市橋則明（リハビリテーション学部自己点検評価委員会委員長）
組織の開催頻度	1年に1～3回
組織の取り組み内容	本学独自の内部質保証推進組織によって下記の自己点検・評価とともに改善に努め、恒常的・継続的に教育・研究の質の保証及び向上に取り組んでいる。
	・教育水準の向上に向けた活動
	・教員の研究水準向上に向けた活動
	・管理運営改善に向けた活動
自己点検・評価結果の公表	H P で公表（URL： <a href="https://www.kmu.ac.jp/faculty/for/index.html">https://www.kmu.ac.jp/faculty/for/index.html</a> ）

【自己評価 4-2】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	シラバス記載内容を改善する仕組みがあり、シラバスの記載内容の改善が行われている。	3
	シラバス記載内容を改善する仕組みはあるが、シラバスの記載内容の改善は十分ではない。	2
	シラバス記載内容を改善する仕組みがない。	1

●基本情報：シラバス記載内容を改善する仕組みについて記入してください。

該当する仕組み	名称 教務委員会
	委員構成等 教務部長（委員長）、教務副委員長、各学科選出委員、事務部学務課
	改善の仕組みの実際 教務委員会（毎月開催）において、3つのポリシーと科目配置等を審議し、科目配置や科目の内容が適切であるかを確認の上、シラバス内容を検討している。

【自己評価 4-3】自己点検・評価及び第三者評価の結果を改善に繋げるための取り組みを記入してください

本学における自己点検評価委員会は委員会自らが進める独自自己点検・評価だけでなく、教育研究推進委員会が進める内部質保証活動についての二次評価も行うという内部質保証推進システムが構築されており、PDCAサイクルを適切に機能させることによって質の向上をはかっている。
--